

「ICSEAD 研究叢書 第1巻」
 (研究叢書シリーズ 発刊記念号)

日本とアジア発展の 政治経済学

Political Economy of Japanese and Asian Development

市村真一 著
 長尾信吾 訳

日本の戦後復興とアジア発展の「雁行形態」に独自の分析を加え、産業構造の変化、地域開発政策、政治と政策決定、金融危機、債務問題など日本と発展途上国の多岐に亘る諸問題に診断と処方箋を与えるアジア研究三十余年の

研鑽の成果。

著者は夙に鋭利な分析と熱烈な政治的・道徳的主張を持つ

数量経済学のエキスパートとして知られるが、本書でも「伝統とモラルへの帰依」と「革新の情熱」との融合が、綿密な分析と論断の直截さとあいまって、本書を自由と合理性の追究へと昇華する。

「経済を政治的視点とともにロゴスとパトスをもってみる」著者独自の複眼的視点は発展途上経済の解明には欠かせない視点であるが、そのパトスの「ほとばしり」が読む者の心を熱くする。



著者 市村真一(いちむら・しんいち):
 (財)国際東アジア研究センター 顧問。
 1925年京都市生まれ。
 1949年京都大学経済学部卒、1953年MIT PhD.、和歌山大学助教授(49-56)、大阪大学社会経済研究所教授(56-68)、京都大学東南アジア研究センター教授(68-88、所長69-79)、大阪国際大学副学長(88-95)、(財)国際東アジア研究センター所長(95-2002)をへて現職。

訳者 長尾信吾(ながお・しんご):
 広島大学 名誉教授。
 1930年滋賀県生まれ。
 1956年大阪外国語大学英語科卒、1960年大阪大学経済学研究科修士課程修了。商社勤務、愛知学院助手をへて、1968年広島大学助教授・教授、1993年定年退官、関西大学、神戸国際大学をへて、1995年呉大学教授、2001年定年退職。

(財)国際東アジア研究センター

The International Centre for the Study of East Asian Development (略称:ICSEAD)

北九州市が中心となり、経済界等の協賛を得て、米国ペンシルベニア大学との協同研究施設として平成元年(1989)9月に設立された。主に、東アジア地域の経済・社会問題の調査研究と、アジア諸国並びに欧米との学術交流を行ってきた。また、北九州市立大学等との大学院連携講座や市民向けの「アジア講座」の開設、ウォートン・エグゼクティブ・プログラム等を開催するなど、地域社会との交流を続けている。

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
 北九州市大手町セウル
 Tel:093-583-6202
 Fax:093-583-6576
 URL:<http://www.icsead.or.jp/>

創文社刊 A5版・上製本…定価(本体7,200円+税)

(財)国際東アジア研究センター賛助会員は特別価格5,000円(税込)で販売

■ご購入ご希望の方は、(財)国際東アジア研究センターへTEL、FAXまたはE-mailでご注文ください。

TEL:093-583-6202 FAX:093-583-6576 E-mail:megumi@icsead.or.jp 担当:有馬、小石

(ふりがな) ご芳名	冊数	ご住所(ご所属・役職名)	連絡先電話番号	賛助会員番号
()	冊	〒	() -	
()	冊	〒	() -	
()	冊	〒	() -	